

火災後対応を明確化

マニュアル策定を監修

みを行うという内容で検討されている。

同診断士会の石川裕

順を示すものを想定している。同診断士会で

の策定に向けて助言を行っている。

は、実際に火害が発生した際に県職員が的確に対応できるように規制解除に向けて必要となる確認作業や緊急時のチェックポイントに

マニユアルは目視観察による外観調査を基本とし、損傷程度や火災最高温度、火災時間、コンクリート部材の表面受熱温度の推定を行い、詳細調査の可否や調査対象部位の絞り込

管理は、地域のコンクリート診断士が担う必要がある。マニユアルの策定に関わることは大変意義深く、コンクリート診断士として技術力向上にもつながる」として、引き続きマニユアルの策定に協力していく。

福井県コンクリート診断士会が技術監修を行っている「コンクリート火災後対応マニュアル」は、トンネルや橋梁などの土木構造物において火災による被害（火害）が生じた場合の交通規制措置の判断の基準や対応手

関する対応フローを作成するなどマニユアル

調査対象部位の絞り込

力していく。